



TITLE:

支那ノ金本位問題ニ就テ(一)

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 支那ノ金本位問題ニ就テ(一). 經濟論叢 1918, 7(2): 251-258

ISSUE DATE:

1918-08-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127416>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號二第 卷七第

行發日一月八年七正大

論說

我戰時利得稅ヲ論ズ(一).....

法學博士

小川郷太郎

遊民考(二).....

法學博士

瀧本誠一

相續稅批評ノ重點(三).....

法學博士

神戸正雄

さんぢかりずむ概論(三).....

法學士

河田嗣郎

植民地統治ノ形式ニ就テ(二).....

法學士

山本美越乃

黃宗義ノ政治經濟思想(三).....

法學士

小島祐馬

露國ニ於ケル新まゝるくす主義(二).....

法學士

米田庄太郎

時事問題

支那ノ金本位問題ニ就テ(一).....

法學博士

戸田海市

救濟事業ノ調査ニ就テ.....

法學博士

神戸正雄

救濟調査會ニ就テ.....

法學士

櫛田民藏

雜錄

飯島學士譯經濟學原論ヲ讀ム.....

文學士

高田保馬

戰費調達問題(三).....

法學士

小島昌太郎

赤穂ノ塩田(二).....

法學士

本庄榮治郎

通貨膨脹ト物價騰貴.....

法學博士

神戸正雄

時事問題

支那ノ金本位問題ニ就テ(二)

戸田海市

今日支那ニ金本位ヲ確立スルコトカ、日支兩國ニ取ツテ戰後經營上最モ緊要ノ事業ニアリ、又此際金本位ヲ採用スルコトカ其幣制ヲ整理統一スルノ捷徑ヲモアルカラ、我國カ此事業ノ爲メニ充分ノ努力ヲ爲スコトヲ要スルハ勿論テアルガ、支那ノ金本位ノ實行ハ世界ノ金貨國共通ノ利益テアルカラ、各國モ亦此事業ニ付テ我國ニ協力スルヲ適當トスルコトハ、本年一月ノ大阪毎日新聞及東京日々新聞ノ紙上ニ稍詳シク論述シタ。其後本問題ハ次第ニ世論ノ重要題目トナラントシツツアルガ、中ニハ支那ノ幣制ノ真相ニ關シテ大ナル誤解カアリ、之カ爲メ一方ニハ支那ノ金本位實行ヲ殆ント絶對ニ不能視スル者アルト同時ニ、他方ニハ之ヲ極メテ容易ノ業ナリト盲斷スルノ論モ起ツテ居ル。予輩ハ本問題ニ付キ茲ニ繰返シテ詳論スルノ邊ヲ有タナイガ、近來ノ世論ニ付テ感シタ所ノ二三ノ點ヲ茲ニ論述スル。尙ホ昨今西比利亞出兵カ世上ニ喧傳セラレツツアル。出兵ノ可否ハ茲ニ予輩ノ論題トセントスル所テハナイガ、若シモ我國カ出兵ニ由テ聯合國ヲ援助ス

ルコトナレハ、一面ニ聯合國ヲシテ支那ノ金本位ノ實行ニ付キ我國ニ協力セシムルコトヲ適當トスル。又若シ支那モ日支軍事協約ニ從フテ出兵シ、其出兵ニ必要ノ資金ヲ聯合國ヨリ供給スルコトナレハ、銀ノ缺乏ノ甚シキ戰時中ニ銀資金ヲ之ニ供給スルヨリモ金ヲ之ニ供給スルコトヲ利益トシ、從ツテ支那ノ本位ヲ金本位トスルコトヲ利益トスル。故ニ日支ノ出兵ハ必シモ兩國ノ戰後經營ノ主眼トモ云フヘキ金本位ノ實行ヲ妨クルモノト云フヲ得ナイ。我國ノ決心サヘ鞏固テアルナラハ却ツテ其實行ヲ速メルコトナルノテアル。

予輩ハ今日急速ニ支那ニ金本位ヲ實行スヘシト主張スル者ヲアルガ、世間或ハ幣制ノ幼稚ニシテ紊亂セル支那ニ於テ、最モ進歩セル金本位制度ヲ實行スヘシト云フカ如キハ學究ノ空想ニ過キストスル者カ少ナクナイ。併シ乍ラ此說ハ予輩ノ主張スル支那ノ金本位ナルモノヲ以テ、我國ヤ歐米文明國ニ於ケルカ如ク整然タル幣制ノ上ニ立ツ本位制度ヲ意味スルモノト誤解スルヨリ起ツタ說テアル。予輩モ近キ將來ニ於テ支那ニ整然タル貨幣制度ヲ實行スルノ困難ナルコトヲ認メル者テアルカラ、今日急速ニ金本位ヲ實行スヘシト云フモ、之ヲ我國ヤ歐米ノ金本位ト同一ノモノタラシメント主張スルノテハナイ。今日支那ハ銀本位國ナリト稱セラルルモ、整然統一セル銀ノ本位及補助貨幣カ流通シテ居ルノテナク、個々ノ貨幣ハ寧ロ其重量純分ニ由テ評價授受セラルル有様テアツテ、鑄造貨幣ト相並ンテ銀ノ地金ト云フヘキ馬蹄形ノ銅銀カ多量ニ使用セラレ、從ツテ重要ノ取引ニ於ケル價格ノ單位モ特定ノ鑄造貨幣ニ由ラスシテ、銀ノ一定ノ目方タル兩テアル。又硬貨ノ外ニ多額ノ紙幣モアルガ何レモ不換紙幣テアリ、其相場ハ大體各發行者ノ信用程度ニ應

シテ評定セラルル傾ヲ有シ、從ツテ各種ノ紙幣ノ相場カ區々テアツテ、又一般ニ大ナル下落ヲ示シテ居ル。更ニ銅貨モ亦同様ニ亂雜テアツテ、又銀貨ニ對シ一定ノ比價ヲ保タスシテ常ニ動搖シテ居ル。此ノ如ク支那ニハ整然統一セル貨幣ナク、又銀貨ト銅貨ノ比價モ一定セサル故、今日ノ支那ハ銀銅並行本位ト稱スヘキ狀態ニ在ルガ、併シ重ナル取引ハ銀ニ由テ行ハレ、從ツテ支那ノ一般物價ハ銀ノ價ニ由テ支配セラレ、國際取引ニ於テモ支部ハ銀貨國タル地位ヲ有シテ居ル。予輩カ今日支那ニ金本位ヲ實行スヘシト主張スルノハ、在來ノ通貨ト相並ンテ金貨金券ヲ流通セシメ、且ツ其流通高ヲ相當ニ多量ナラシメ、之ニ由テ支那ノ物價カ銀ニ由リ支配セラルル現狀ヲ變シテ、今後金ニ由リ之ヲ支配セシムヘシト主張スルノテアル。支那ノ幣制ヲ改ムルニハ在來ノ通貨ヲ整理シ、又其ノ一部分ハ之ヲ流通ヨリ排除スルコトヲ利益トスルガ、此ノ如キ整理ハ短月日ニ之ヲ實行スルコトカ困難ナルニ反シ、銀ニ代ツテ金ヲ主要ノ通貨タラシムルコトハ左マテ困難ナシ。

貨幣制度ノ確立セル文明國ニ於テハぐれしやむノ法則カ行ハレテ惡貨幣カ良貨幣ヲ驅逐シ、又不換紙幣ヲ濫發スレハ正貨ヲ驅逐シテ遂ニ紙幣本位トナルノテアルガ、支那ニ於テハ惡貨幣ト良貨幣トカ各其實價ニ由テ並ヒ行ハレ、硬貨ト下落紙幣トモ相並ンテ通用シ、ぐれしやむノ法則カ働カナイ爲メニ、支那ノ市場ニ於テハ銀カ物價ヲ支配シ、銀本位國タルノ地位ヲ保ツテ居ル。若シモ幣制ノ確立セル場合ニ支部ノ如ク紙幣ヲ濫發スレハ、忽チ銀本位國タルノ地位ヲ失ツテ南米ノ諸共和國ノ如ク紙幣本位國トナラサルヲ得ナイ。一國ニ文明ノ制度カ確立スレハ之ヲ濫用スルノ危

險モ起リ得ルノテアルガ、支那ニ於テハ貨幣制度カ確立シナイ爲メニ之ヲ濫用スルコトモ出來ナカッタノテアル。支那人ハ其政府ニ信用ヲ置カサル故、政府カ硬貨ヲ發行スレハ人民ハ其重量純分ヲ検査シ、商品ノ如ク其實質ニ應シテ之ヲ評價通用スルノ傾カ強イ。又政府カ紙幣ヲ發行スレハ人民ハ他ノ信用證券ト同シク之ヲ其信用程度ニ應シテ評價スルノ傾カ強ク、額面通りニ通用スルモノハ皆無テアル。甚シキハ硬貨及紙幣ヲ發行シタル政府自身モ租税公課トシテ人民ヨリ之ヲ受取ルニ方ツテハ、其ノ時々ノ相場ニ由テ之ヲ受取り、額面通りニ之ヲ受取ルノ責任ヲ實行シナイ場合カ多イ。故ニ支那ノ今日ノ通貨ハ文明國一般ニ行ハルル貨幣ト云フヨリモ寧ロ商品ヤ信用證券ニ近イモノテアル。此ノ如ク支那ノ通貨カ其額面價格ヨリモ寧ロ其實價ヲ以テ通用スルノ傾カ強イ爲メニ、重量純分ノ正確ナル硬貨ヤ信用ノ基礎ノ確實ナル紙幣カ他ノ惡貨幣ヨリモ歡迎セラレテ市場ニ優勢トナル傾向カアル。曾テ墨西哥弗カ汎ク流通シ、今日ハ新シキ圓銀カ優勢トナレルカ如キハ其一例デアツテ、此點ヨリ見レハ支部ニ於テハ惡貨幣カ良貨幣ヲ驅逐スルト云フぐれしやむノ法則ノ支配ヨリモ、寧ロ反對ニ良貨幣カ惡貨幣ヲ驅逐スルト云フ商品ノ傾向カアルト云ハチハナラヌ。故ニ今日支那ノ金本位實行ノ爲メニ外國ヨリ相當ノ準備ヲ供給シ、且ツ外國ノ嚴正ナル監督ノ下ニ貨幣ヲ發行スルナラハ、此貨幣ハ自然ニ在來ノ不確實ナル惡貨幣ヲ驅逐シテ市場ニ優勢トナルノ望カアル。只タ其ノ發行スル貨幣カ銀貨銀券テナクテ金貨金券テアルコトハ其流通ニ對スル一大障礙テアルガ、此障礙ハ下ニ論スルカ如キ方法ニ由テ之ヲ除クコトカ出來ルノテアル。

戰後世界ノ銀相場カ次第ニ下落スルコトハ疑ヲ容レナイト信スルガ、銀ノ下落スル時代ニ於テ支那ニ金銀貨幣カ並ヒ行ハルルコトナレハ、人民ハ其ノ何レヲ撰ムヘキヤト云フニ、下落ノ勢アル銀ヨリモ金ヲ受取ルコトカ安全テアル。此場合ニハ賣買貸借ノ契約ヲ爲スニモ金勘定ヲ以テスルコトヲ利益トスルカラ、金貨カ銀貨ヨリモ一般ニ歡迎セラレル理由カアル。一體文明國ニ於テハ金銀地金又ハ金銀爲替ヲ取扱フ特別ノ商人ヲ除キ、一般人民ハ殆ント貨幣相場ノ觀念ナク又金銀比價ノ變動ニモ無頓着テアルガ、支那ニ於テハ雜多ノ貨幣ノ商品的ニ取扱フノ必要ヨリシテ、一般人民カ貨幣相場ニ付キ極メテ鋭敏ノ能力ヲ有スル。故ニ銀相場ノ下落スル時代ニハ支那ニ金貨ヲ普及セシムルニ甚タ有利テアル。元來支那ニ於テ新ニ金本位ヲ行フニハ第一ニ其金貨金券ノ自然ニ有スル實質上ノ優良性ニ依頼シテ之カ通用ヲ普及セシムルコトヲ要スルガ、前ニ述ヘシ如ク外國ノ監督ノ下ニ正確ナル金貨ヲ鑄造シ、又確實ナル準備ヲ置テ金券ヲ發行スルコトハ、永久のニ之ニ優良性ヲ與フルモノテアリ、又茲ニ述フル如ク戰後金ニ比シテ銀ノ下落スルコトハ一時のニ之ニ優良性ヲ有セシムルコトトナルノテアル。支那ニ金本位ヲ採用スルニハ直チニ今日ヨリ着手スルノ特ニ必要ナルハ此一事ニ由ルモ明カテアル。

支那ニ金本位ヲ行フニハ其自然ノ優良性ニ依頼スルヲ以テ足レリトセス、或程度マテ人爲のニ之ニ優良性ヲ與ヘテ、其流通ヲ助クルノ必要ナルハ言フ俟タヌガ、其方法トシテ第一ニ重要視セラルルハ租稅其他ノ一切ノ公納ニ金貨金券ヲ優遇シ、假令ヘ他ノ種類ノ貨幣ノ受領ヲ全然拒絶スルヲ

得ストシテモ、之ヲ受領スルニハ時價ヨリモ幾分ノ割引ヲ爲スカ如キ方法ニ由リ、其流通ヲ不利益ナラシムルコトアル。然ルニ支那ニ於テハ一切ノ制度カ紊亂シテ居ルカラ、法律ヲ以テ國庫ノ納入ニ金ヲ優遇スルコトヲ定メテモ、外人ノ管理ニ屬スル海關稅鹽稅ノ類ヲ除テハ、一般ニ當局官吏カ其法律ヲ履行シナイ危險カ甚タ多イ。前ニ述ヘシ如ク政府カ自己ノ發行セル硬貨紙幣ヲ受取ルニ必シモ額面價格ヲ以テシナイト云フカ如キモ其一例テアル。只タ戰後銀力下落スルモノトスレハ、支那ノ官吏モ價ノ減スル銀貨ヨリモ金貨ヲ受取ルコトヲ欲スルカラ、金納優遇ノ法律ハ自然ニ履行セラレルコトナル。此場合ノ金納優遇ハ制度ノ力ニ由テ行ハレルノテハナクテ、前ニ民間流通ニ付テ述ヘシ如ク金ノ實質上ノ優良性ニ由テ行ハレルノテアル。凡ソ文明國ニ於テ政府カ其ノ發行セル貨幣ヲ法貨トシテ額面通りニ受領スルト云フコトハ、其貨幣制度ノ成立ノ根本條件ト見做シテ居ルノテアルガ、支那ニ於テハ此根本條件ノ實行カ覺束カナイ。是レ支那ノ幣制改革ヲ行フニハ其制度ノ整理統一ニ重キヲ置ク方針ノ誤レル所以テアルト同時ニ、戰後ノ銀相場下落ノ機會ニ乘シテ金本位ヲ確定スルノ急務ナル所以テアル。

人爲的ニ金ノ流通ヲ助クルニハ獨リ公クノ取引ニ於テ之ヲ優遇スルノミナラス、私ノ取引ニ於テモ之ヲ優遇スルコトヲ要スルガ、此事タル支那ノ有力ナル實業家カ汎ク率先シテ之ヲ實行スルコトハ望マレナイカラ、我國ヲ初メトシテ金本位ノ實行ニ協力スル所ノ諸外國人ノ努力ニ由ラネハナラス。私ノ取引ニ於テ金ヲ優遇スルト云ヘハ、主ニ金融ト商業トノ兩方面ニ於テ之ヲ優遇スルコトアルガ、支那ノ金融ノ中心ハ上海ニ於ケル少數ノ有力ナル外國銀行ニ存シ、此等ノ外國銀行

ハ恰モ他ノ文明國ニ於ケル中央銀行ニ類スル地位ヲ占ムル故、彼等カ一致シテ金勘定取引ヲ優遇スルコトトナレハ、金ノ流通ニ大ナル援助ヲ與ヘルコトトナル。然ルニ此等外國銀行ハ多年支那ニ於テ金銀相場ヲ營ムコトヲ其營業ノ重要項目トスルノミナラズ、支那カ今日ノ如ク世界列國ト離レテ獨リ銀本位ヲ行フトキハ、諸外國ノ普通ノ銀行カ支那ノ金融界ニ活動スルコトカ困難デアルカラ、現在ノ少數ナル在支外國銀行ハ或程度ノ獨占的地位ヲ有シテ大ナル利益ヲ得ツツアル。故ニ此等ノ外國銀行ハ概シテ支那ノ金本位ニ移ルコトニ反對スル。彼等ヲシテ一致シテ金勘定取引優遇ヲ勵行セシメントスレハ、先ツ支那ノ金本位ニ協力スル外國政府カ一致シテ其在支銀行ニ之ヲ命スルコトヲ要スル。勿論或一國ノ在支銀行例ヘハ我カ橫濱正金銀行及臺灣銀行ノミカ率先金勘定取引ヲ勵行セントスルモ、他ノ外國銀行カ銀勘定取引ヲ行フテ競争スルトキハ、我國ノ銀行カ大ナル損失ヲ蒙ムツテ支那ノ金融界ニ對スル勢力ヲ減スルノ危險カアルカラ、各國ノ外國銀行カ一致ノ態度ヲ探ルコトヲ要スル。戰後ニ銀相場カ下落スルモノトスレハ、在支外國銀行モ銀相場ノ暴騰セル今日ニ於テ其銀資金ヲ有利ニ處分シテ金資本ニ轉換スルコトカ大ナル利益デアルカラ、各本國政府ヨリ之ニ金勘定取引ノ勵行ヲ命スルコトハ、決シテ之ニ對シ無理ノ負擔ヲ強ユルコトトハナラヌノテアル。世界金融ノ發達ニ伴フテ遠カラス彼等ノ獨占的地位ハ破ラルルノ運命ニ在ルカラ、彼等モ覺醒一番此際金本位ノ成立ニ援助シテ銀ノ下落ニ由ル後日ノ損失ヲ免ルルコトニ努メネハナラス。

次ニ外人ノ關係セル支那ノ商業ト云ヘハ主ニ輸出入貿易テアルガ、支那ノ輸出入ノ大ナル部分ハ

支那商人ヨリモ外國商人ノ手ニ取扱ハルル故、此等ノ外國商人カ一致シテ金勘定取引ヲ勵行スレハ、支那ノ一般取引ニ金ヲ普及スルニ大ナル效力カアル。支那ノ輸入ニ金取引カ勵行セラルルトキハ、輸入者ハ其代金支拂ノ爲メニ金貨ノ需用ヲ生シ、且ツ金ニ由テ買取ツタ輸入品ハ成ルヘク金ニ由テ國內ニ販賣セントスル。又輸出貿易ニ付テ金取引ヲ勵行スレハ、支那ノ輸出者ハ其ノ受取リシ金貨ヲ有利ニ使用スル爲メ、國內取引ニ付テモ金取引ヲ行ハント努力スルカ、同時ニ輸出代金トシテ金ヲ受取レハ輸入者ニ之ヲ供給シテ、輸入方面ノ金取引ヲモ助ケルコトナル。故ニ輸出入双方ニ付テ金取引ノ勵行ヲ圖ルコトヲ利益トスル。只タ銀行業ノ場合ト異ツテ貿易業者ハ多數テアルカラ、各國ノ貿易業者カ金取引勵行ニ付テ一致ノ態度ヲ探ルコトハ頗フル困難ヲハアルガ、併シ戰時ノ今日ニ於テ我國ノ貿易業者カ支那ノ貿易上殆ンド獨占的ニ優勢テアルノミナラズ、戰後ニ於テモ最モ優勢テアルカラ、金取引ノ勵行ニ付テハ先ツ我國ノ貿易業者ノ結束ヲ必要トスル。戰後銀相場カ下落シツツアル間ハ、對支貿易業者ハ銀取引ヲ行フコトカ損失テアルカラ、競争上已ムヲ得サルニアラサレハ銀取引ヲ避ケテ金取引ヲ選マントスルニ相違ナイガ、戰後當分ノ内ハ各國共ニ支那市場ニ對シテ戰前ノ如ク激烈不利ノ競争ヲ爲スノ餘力ヲ有シナイカラ、貿易上金取引ヲ勵行スルコトハ必シモ難事テアルマイ。此點ヨリ見ルモ支那ニ金本位ヲ行ハントスレハ、今日ノ好機會ヲ逸スヘカラサルコトカ明カテアル。尙ホ貿易上ノ金取引勵行ニ付テモ、支那ノ金本位ノ實行ニ協力スル所ノ各國政府ノ一致ノ態度ヲ必要トスルガ、特ニ支那貿易上優勢ナル我貿易業者ノ確固タル決心ヲ必要トスル。(未完)